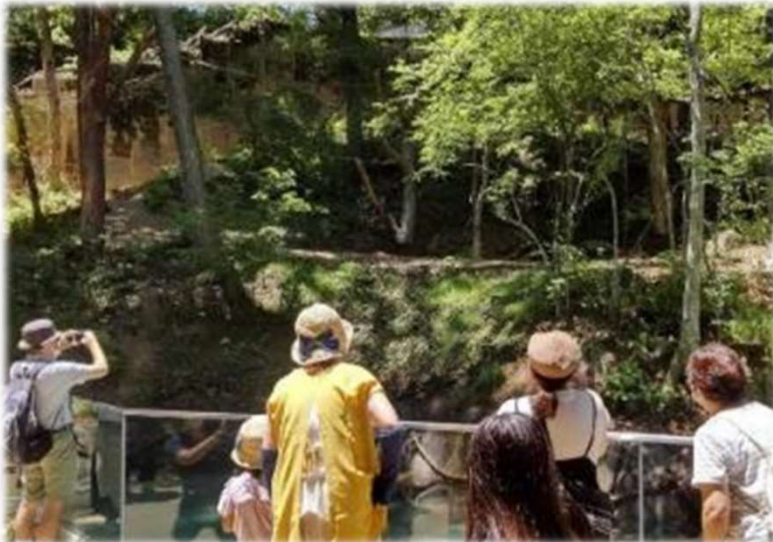


茶臼山動物園再整備事業の実施状況について ～寄附金・地方創生拠点整備交付金の活用～



都市整備部公園緑地課



オランウータン飼育展示施設「オランウータンの森」

令和3年7月 一般公開

※寄附を募り施設を整備（寄附金を茶臼山動物園整備基金へ積み立て）

※地方創生交付金事業認定（内閣府）

ライオン飼育展示施設整備

令和3年 3月 地方創生拠点整備交付金事業認定（内閣府）

8月 整備工事着手 ※引き続き寄附金も活用

令和4年11月 建築工事竣工

12月 サポーター内覧会開催

令和5年 2月 ライオン新施設へ引っ越し

令和5年 4月 「ライオンの丘」オープン（4月22日）

※開園40周年記念事業として公開

アムールトラ飼育展示施設整備

R 6年度以降 猛獣舎再整備 ・ ・ ・ 学習（展示）・物販の機能を備えた複合施設として整備
（アムールトラ専用施設） デジタル田園都市国家構想交付金
（地方創生拠点整備整備タイプ）の活用を検討

■ オープニングセレモニー（令和5年4月22日）



新獣舎前でのテープカット



保育園児による くす玉割



子どもたちとの記念撮影



一般公開を待つお客様



茶臼山動物園の新施設
「ライオンの丘」
4月22日(土)オープン!
【オープニングセレモニー】10:00~10:30 【一般公開開始】11:30~



長野市茶臼山動物園
〒388-8016 長野市篠ノ井有旅570-1
TEL:026-293-5167 FAX:026-293-5197
入園料：大人600円 小中学生100円

PRポスター

■眺望を活かしたライオン展示



丘に登るライオン



遠くの山並みを望む



お客様の近くに迫るライオン



ガラス越しに見る展示



ライオンがくつろぎ爪を研ぐ倒木



ライオンの姿をじっくりと観察

今までの展示

現展示場面積 60㎡



＜猛獣舎での展示＞
壁を背景に見る

新たな展示

新展示場面積 125㎡



＜整備中の屋外展示場＞
雄大な景色を背景に見る

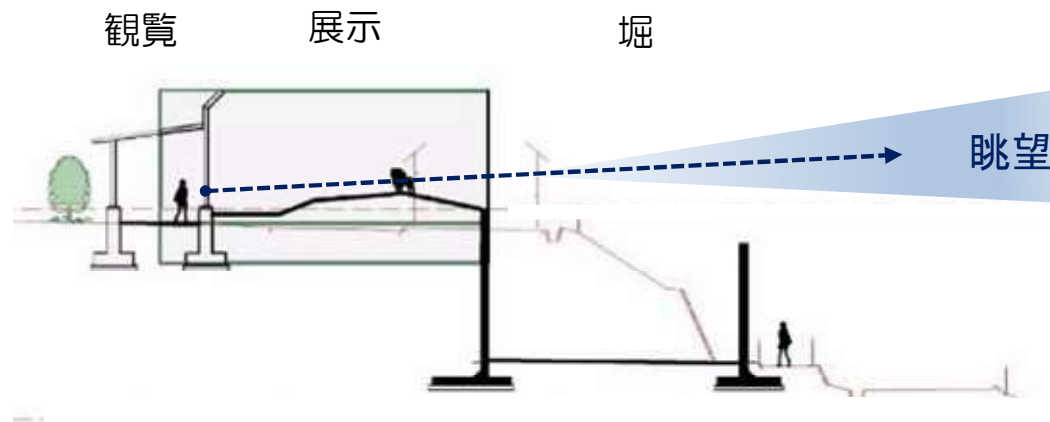
展示の背景

眺望面積 250km²

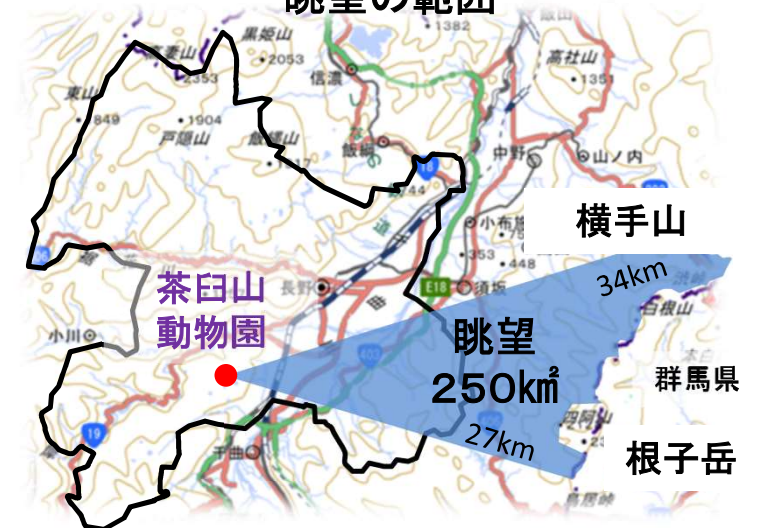


＜背景の山並み＞
菅平から志賀高原までの大パノラマ

ライオン展示の断面図



眺望の範囲





「ライオンの丘」 (事業費と支援の状況)

■ 「ライオンの丘」 事業費

● 事業費

施設整備費: 180,000千円

■ 茶臼山動物園整備基金への寄附実績 (単位: 千円)

年 度	個 人		企 業		合 計	備 考
	件数	金額	件数	金額	金額	
令和2年度	206	1,900	20	3,910	5,810	
令和3年度	429	4,216	33	11,510	15,076	
令和4年度	303	2,652	10	7,300	9,952	企業版 ふるさと納税含む
累 計	938	8,768	63	22,720	31,448	

※令和2～3年度の寄附金をライオンの丘整備に活用

茶臼山動物園サポーターになって
いっしょに森の動物園をつくらう!

長野市では茶臼山ならではの自然を活かした再整備に取り組んでいます。動物たちがもっと生き生きとした暮らしを送れるよう茶臼山動物園整備基金への寄附で、ご支援をお願いします。

皆様のご支援で「アムールトラの森」と「ライオンの丘」を整備します

現在の猛獣舎のエリアで、2025年オープンを目途に茶臼山の森や眺望を活かし、動物の生息地の風景を想像しながら動物たちとの新たな出会いの場をつくります。

アムールトラが樹林や水辺を駆け巡れるような展示の仕掛けを作ります

アムールトラが樹林や水辺を駆け巡れるような展示が見られるようになります

1口 2,000円 寄附いただいた皆さんは「茶臼山動物園サポーター」に登録させていただきます。下の払込取扱票からお振込みいただけます(記入方法は裏面をご覧ください)

サポーターの皆さんには、ささやかではありますが、感謝のメニューをご用意しました

特別なお時間に入園できます
その1 開園時間外に入園できる日をご用意します。詳しくは裏面記載のホームページへ

お名前を提示します(500円以上)
その2 トラとライオンの施設が完成後、寄附者銘板へお名前を提示させていただきます。お子さんやお孫さんの名前もOK!

ご招待券をプレゼントします
その3 動物園から招待券(大人・小学生共通)を1口の寄附につき1枚差し上げます。

入園料を割引します
その4 サポーター登録区提示で入園料が大人100円、小学生20円引きになります。同伴者の方もOK!

ふるさと納税制度の税額控除が適用できます!
※標準税率20%の寄附の場合... 10,000円の寄附の場合... 8,000円の税控除*になりますので、実質負担額は2,000円です
*寄附や家族構成等で税額控除は異なりますので、詳細は下記までご確認ください
*もしも、3,000円以内(15,000円)の標準税率20%の寄附が複数ある場合は、1口の寄附として扱われます!

07長野 払込取扱票 払込料金加入者負担

005407 960100

長野市

599 (JPCR) 長野市 茶臼山動物園整備基金 (2020年4月以降)

振替払込請求書受領証

005407 960100

長野市

個人サポーター募集リーフレット

令和4年度以降の寄附金をアムールトラ展示に活用



■ サポーターイベント



サポーター登録証（寄附後1年間有効）



特別イベントに集まるサポーター



完成した施設の内覧会



飼育スタッフの解説・環境学習（獣害被害等地域の課題・採食行動・生息環境保全など）



【屠体給餌】
野生シカの足を
食べるトラ

■ サポータの紹介



寄附者銘板（個人・企業団体）



企業団体サポーター紹介

賛同をいただき
ながら再整備事業を
進めています



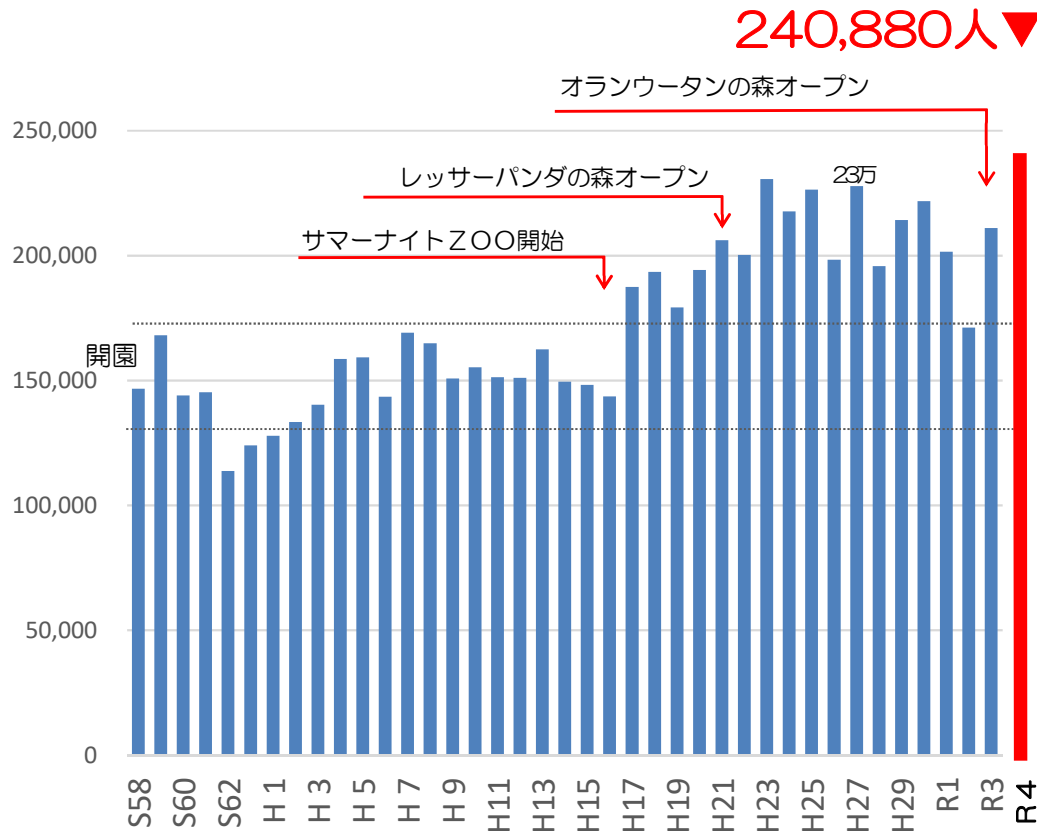


来園者の状況

○年間来園者数：20～24万人（平成21年以降）

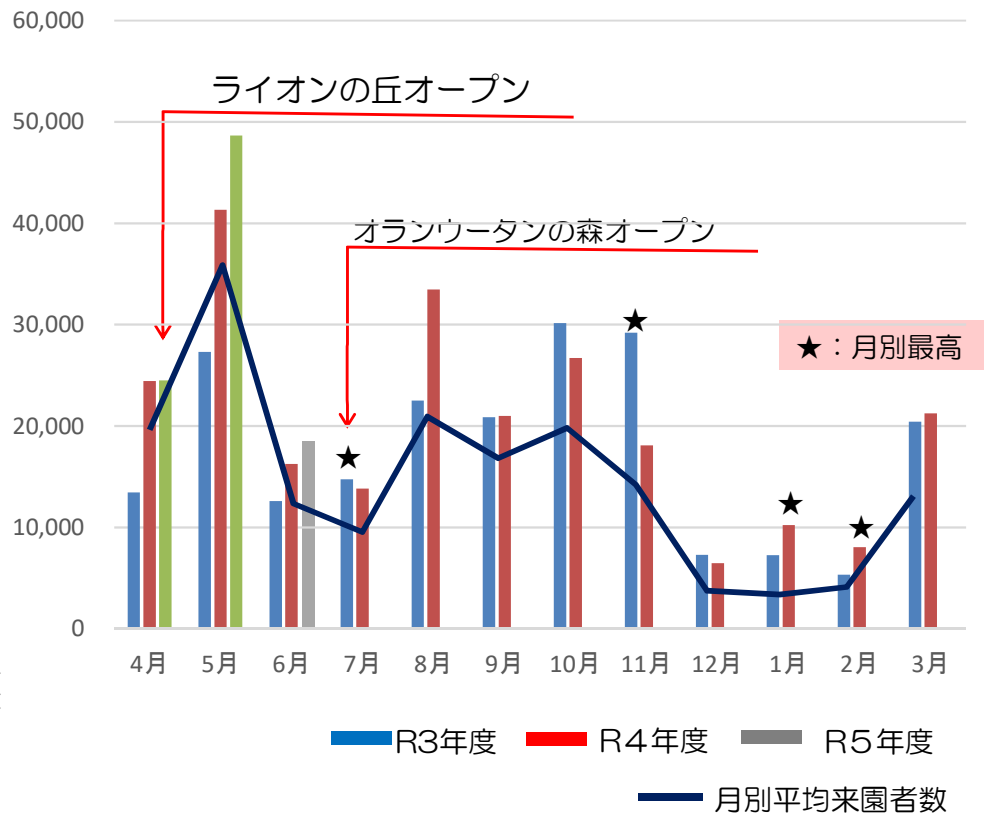
※ 過去最高を記録 240,880人（令和4年度）

年間来園者の推移



月別来園者数の推移（令和3年度～）

※令和5年5月4・5日は9千人/日を突破



■ 事業費

財源内訳	金額(千円)	備 考
寄附金(茶臼山動物園整備基金繰入金)	36,408	サポーター(個人・企業団体)からの寄附を基金に積み立て
市単独費	48,000	ふるさと“ながの”応援寄附含む
地方創生拠点整備交付金	125,000	主に屋内展示施設
合 計	209,408	うち既存動物舎改修(クマ舎・現オランウータン舎10,500千円)

※ 平成30年度～令和元年度に寄せられた寄附金を活用(個人寄附:481件 9,796千円・企業団体寄附:50件 26,212千円)

■ 地方創生拠点整備交付金

認定計画: 人と動物を魅了する地域固有の自然景観を活かした茶臼山動物園展示施設再整備
集客拠点としての取り組み

- 新たな手法を取り入れた展示施設による集客力向上
 - * 森林景観を取り込んだ独創性のある屋内展示
 - * 屋内展示の充実による冬期来園者数の底上げ
- 地域と連携(商工・農業)
 - * 地域のイベント・観光施設・地元農産物の動物園内でのPR
- サポーターとの関係構築
 - * 本園の取り組みに賛同する「動物園サポーター」との継続的な関係構築(サポーター特典等)

KPI(重要評価指標)の設定

- ①動物園来園者数 ②観光入込客数(篠ノ井) ③動物園サポーター登録者数



オランウータン [KPI (重要評価指標) の進捗状況] 10

①動物園来園者数

	基準値	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
目標	215,000	215,000	225,000	230,000	235,000
実績		201,444	171,062	210,962	240,880

※基準値は2017年度実績

2021年7月17日のオランウータンの森オープン以降、7月と11月の月別来園者数が過去最高を記録するなど、来園者数は順調に推移し、2022年度は過去最高を記録した。

②観光入込客数(篠ノ井)

	基準値	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
目標	258,000	258,000	273,000	280,500	288,000
実績		279,800	245,700	306,600	268,680

※基準値は2017年度実績

※2022年度は算出方法の変更を行っている

2021年度は、新型コロナウイルス感染拡大以前の2019年度実績に対し、約1割増加した。2022年度は、算出方法の変更により数値は減少したが、動物園の来園者数の伸びを考慮すると地域の観光入込客数も増加傾向にあると考えられる。

③サポーター登録者数

	基準値	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
目標	210	210	230	245	260
実績		228	206	429	303

※基準値は2018年1月時点の見込み

2019年度に開始した茶臼山動物園サポーター制度が定着してきた。2021年度は、オランウータンの森オープンに合わせたPRにより大幅に増加した。

【今後の展望】

- 自然の森を活用した新たな展示施設のオープンをきっかけに茶臼山動物園への関心や、来園者数も増加傾向にあることから、更なるPRに努め来園者の増加につなげる。
- 動物園内で地域イベント（篠ノ井軽トラ市ほか）のPRを行うなど、引き続き地元の商工団体等と連携し、地域経済への波及効果を高めていく。



■ ライオン

● 事業費

施設整備費: 180,000千円

(単位: 千円)

財源内訳	令和2年度(補正)	令和3年度	令和4年度	備考
地方創生拠点整備交付金	150,000			
市単独費(茶臼山動物園整備基金繰入金等)		5,000	25,000	ふるさと“ながの”応援寄附含む

● 地方創生拠点整備交付金

認定計画: 中山間地域の魅力を伝え暮らしを支え合う「人と自然の交流拠点」茶臼山動物園再整備事業

集客拠点としての取り組み

- 新たな手法を取り入れた展示施設による集客力向上

*大パノラマが広がる抜群の立地を活かし、眺望と一体化した動物展示施設を整備

- 地域の魅力発信

*眺望の良さなど長野の中山間地域の魅力を伝える動物展示施設

KPI (重要評価指標) の設定

①動物園有料入園者数 (大人)

②動物園サポーター登録者数 (市外)

③茶臼山モノレール利用者数



①動物園有料入園者数(大人)

	基準値	2021年度	2022年度	2023年度
目標	97,200	97,200	99,600	111,700
実績		100,800	109,844	—

※基準値は2019年度実績

動物園内および周辺地域での消費につながる年齢層(大人)の来園者数は、基準年の2019年度以降、増加している。

②茶臼山動物園サポーター登録者数(市外)

	基準値	2021年度	2022年度	2023年度
目標	122	122	132	142
実績		207	168	—

※基準値は2019年度実績

交流人口増加に直接的に結びつく市外在住サポーターについては、2021年度に大きく増加し、2022年度についても基準年の2019年度実績に対し約4割増加した。

③茶臼山モノレール利用者数

	基準値	2021年度	2022年度	2023年度
目標	75,100	75,100	77,600	87,600
実績		79,802	93,955	—

※基準値は2019年度実績

2019年度実績に対し25%増加した。隣接する観光施設(恐竜園)との往来の状況を示す一つの指標であるが、茶臼山エリア内施設の相互利用が増加傾向にあると推測される。

【今後の展望】

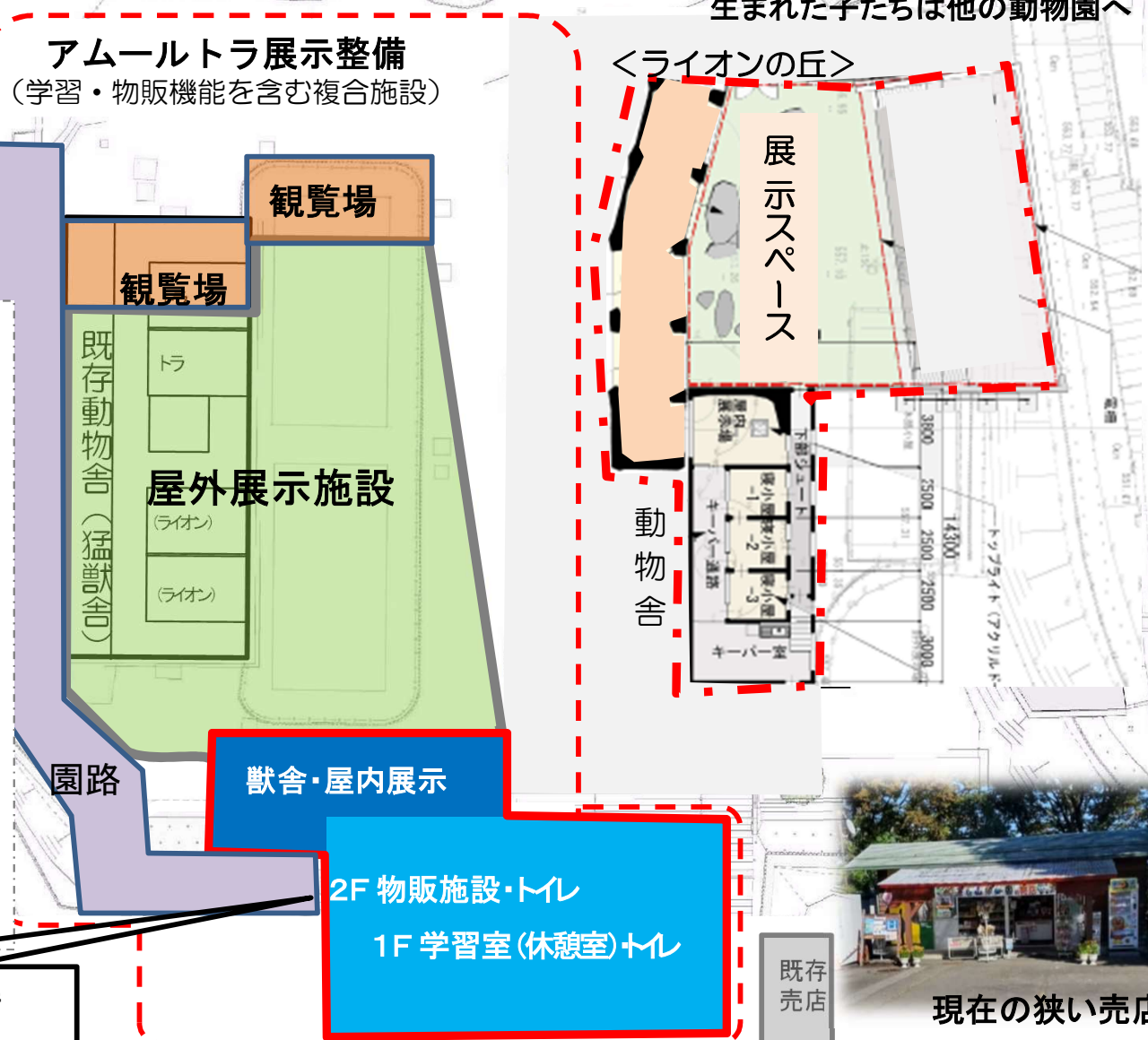
- ・眺望を活用した新たなライオン展示施設がオープンし好評であることから、引き続きPRに努め、茶臼山でしか味わえない魅力を伝え、様々な年齢層の来園を促す。
- ・眺望が良い茶臼山エリアにおける各施設の魅力を伝え、相互利用を促進する。

- 絶滅危惧種に指定され、国際的な計画のもと繁殖に取り組んでいる
- 飼育施設が不足し、繁殖した子を本園で飼育できない



飼育スペースが不足
生まれた子たちは他の動物園へ

計画平面図



アムールトラ展示整備
(学習・物販機能を含む複合施設)



これまでライオンとアムールトラが共有
建物や檻の老朽化が進行

- **アムールトラ飼育展示施設整備**
- ◆ 学習・物販機能を備えたアムールトラ展示施設
- ◆ 地域の生物資源の好循環・地産地消の拡大
- ◆ 事業費：約3億円
- 財源：
 - ・デジタル田園都市国家構想 交付金（地方創生拠点タイプ）
 - ・茶臼山動物園整備基金
 - ・ふるさと応援基金
- ◆ 事業行程：
 - ① 複合施設(獣舎・学習・物販) 整備
 - ② 既存獣舎取り壊し
 - ③ 屋外展示施設整備

※農林分野との連携し、駆除された野生動物個体の受け入れやジビエ食材の販売、野生動物に関する総合的な学習等を通じて地域の生物資源の好循環や消費を生み出し、地域の課題解決につなげる拠点施設として整備する

交付金を活用し複合施設として整備



現在の狭い売店

既存
売店



＜アムールトラ展示イメージ＞

＜飼育展示方針＞

- 繁殖可能な施設とし、種の保存に取り組む
飼育可能頭数：2頭 → 4頭
- 樹木や水を用い森林環境を再現し
森の中を動きまわる本来の生態を展示



シカの足（餌）



シビエ食材



茶臼山はリンゴの産地

＜整備する機能＞

①展示機能（肉食動物 アムールトラ）

- 駆除肉を飼料として与える屠体給餌^{とばい きゅうじ}・・・地域資源の活用、課題の解決
- 生息環境展示・・・自然環境・動物本来の生態の学習

②学習機能（休息所を兼ねた多目的学習室）

③物販機能

- 地域産農産物・シビエ食材の販売・・・販路、消費拡大
- 動物園オリジナルグッズ販売

賛同をいただき
お客様を増やしながら
魅力ある動物園づくりに
取り組めます

